

うなぎ丼販売に長蛇の列

三河一色みなとまつり2015

三河一色みなとまつり2015が5月23日・24日の両日、一色さかな広場で開催されました。うなぎの蒲焼の香りが漂う中、うなぎ丼やあさり汁の販売には長蛇の列ができ、手にした来場者は笑顔で味わっていました。また、うなぎつかみ体験やえびせんべい手焼き体験、お好みの海鮮丼を作るうなぎなどのイベントも行われ、うなぎつかみ体験に挑戦した大勢の小学生たちは、ヌルヌルと逃げるうなぎを捕まえようと必死に追いかけていました。



くるくる回るかざぐるまを作ろう

アートでGo! Go!

アートでGo! Go! 「見えないものを見つけてみよう! ~かざぐるまを使って~」が6月7日、岩瀬文庫で行われました。参加者は、講師の宇田もも氏からかざぐるまの作り方の説明を受けた後、それぞれ思い思いに真剣な表情で作っていました。デザインに工夫を凝らしたオリジナルのかざぐるまが完成すると、お互いに見せ合ったり、回したりして楽しんでいました。作ったかざぐるまは、7月26日(日)まで岩瀬文庫入口に展示されています。



あふれる緑に笑顔いっぱい

横須賀保育園で芝生の植え付け



5月30日、横須賀保育園で園庭への芝生の植え付けが行われました。地域の方々の手によって等間隔に掘られた穴に、園児と保護者が芝の苗を植え付けていきました。園児たちは「芝生の上に集まってくる虫とたくさん遊びたいです」「スプリンクラーで水遊びがしたいです」「芝生の上で裸足になってたくさん走りたいたいです」と、目を輝かせていました。秋の運動会には、生えそろうた芝生の上を走りまわる園児の姿を見ることができることでしょう。

命の大切さを学ぶ

赤ちゃんふれあい体験授業



吉良中学校で赤ちゃんふれあい体験授業が5月27日から6日間にわたって行われ、2年生の生徒234人が体験しました。生徒たちは参加したお母さんから赤ちゃんの名前や普段の様子などを教えてもらい、優しく抱っこしてふれあいました。笑ったり泣いたりする赤ちゃんに少し戸惑いながらも、笑顔でしゃべりかけてあやしていました。その後、お母さんたちから、出産と育児の喜びや苦労の話を聞き、命の大切さを学びました。



出水期を前に、万全の体制で備える

市 水防訓練

市水防訓練が5月17日、矢作川左岸の河川敷で行われました。各種技術の習得と水防意識の高揚を目的として実施されたもので、市水防団員をはじめ、市消防団員や市建設業災害防止協会、市職員など総勢約450人が参加しました。いつ起きるか分からない台風や集中豪雨などの万一の災害に備えるため、堤防の裏法面の崩れを防ぐ「杭打ち積土のう工」や、軽量鋼板を用いる「せき板工」などを力を合わせて完成させるなど、どの参加者も真剣に取り組んでいました。



防災意識の向上を目指して

白 浜小防災集会



全校児童を対象に春の防災集会が5月20日、白浜小学校で行われました。防災学習の一環として、防災意識を高めるために実施されたもので、6年生が昨年度の取り組みなどを振り返り、4つの重点目標を提案しました。提案に対して下級生から「地域の人とのつながりは重要だ」「家族と防災について考えたい」などたくさんの意見や感想が出されました。このあと、吉良町防災サポート赤馬の高須善身さんから、重点目標へのアドバイスや防災についての話があり、子どもたちは真剣に聞いていました。

親子で体験し、ふれあいを深める

一 色中部小学校 親子ふれあい学級

親子ふれあい学級が6月6日、一色中部小学校で開催されました。受講する講座を親子で相談して決め、一緒に体験活動をする中で、親子の絆やふれあいを深めてもらおうと、毎年企画されている講座です。校内の各教室や体育館では、一芸に秀でた「まちの先生」が講師を務め、Tシャツ作りをはじめ、彫金やダンス、フラワーアレンジなど17の講座が行われました。参加した親子は、協力しながら作品を作るなど、笑顔で楽しいひとときを過ごしていました。



楽しみながら図書館の利用方法を学ぶ

え ほんさがし隊~としょかんを知ろう~



えほんさがし隊が6月7日、幡豆図書館で行われました。参加した小学1~4年生の児童たちは、紙芝居で本の探し方や借り方、走ったり騒いだりしてはいけないことなど、図書館の利用方法について学びました。その後、えほんさがし隊を結成。2隊に分かれた児童たちは、課題の絵本を探しに競って本棚へ向かいました。「走ってはだめですよ！」隊長の声に、紙芝居で学んだことを思い出しながら、本に貼ってあるシールや記号などを頼りに、課題の絵本を探していました。